

いたが、令和4年度からは、弁当の調理から配達までの連を桜花が行なっている。

課題としては、利用者が年々減少傾向にあることであるが、主な原因に、施設入所や入院等で利用を休止する方が多くなっていることが挙げられる。

企業会計

〔質疑〕水道事業における、業務量に関する指標のうち、最大稼働率については、令和2年度までは100%を切っていたが、令和3年度は約127%と増大した。

最大稼働率が100%を越えた理由を伺う。

〔答弁〕本年3月の福島県沖地震の影響で漏水が発生し、配水地の水位が下がり、補給が難しくなったことから、仙南・仙塩広域水道事務所に追加で補給していただいた。

これらのことから増加したものを考えている。

予算審査特別委員会

第62号議案・令和4年度白石市一般会計補正予算(第5号)から第65号議案・令和4年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の計4議案について、定例会3日目(9月8日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・保科善一郎、副委員長・大森貴之)は、9月13日に審査を行い、すべての議案について採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

◎令和4年度白石市一般会計補正予算(第5号)

総務費

〔質疑〕集会所等建設事業補助金の交付については、原則完了払いとしているが、多額になれば立て替え払いが必要な状況も出てくる。ある程度相談に応じてもらえるのか伺う。

〔答弁〕本補助金の交付については、原則、完了払いの取り扱いとしてしていることから、完了

払いが可能な範囲で工事を行なっていたら、自治会においては修繕や改築の資金を準備していただきたい。と考える。

〔質疑〕みやぎ青年婚活サポートセンター負担金を計上している理由について伺う。

〔答弁〕宮城県教育委員会所管の財団法人である、宮城県青年会館が運営するみやぎ青年婚活サポートセンターは、マッチング支援事業として専門相談員による結婚相談やカウンセリング、パートナーの紹介や婚活イベント、親の交

流会などさまざまな事業を展開している。

このような事業に力を入れることは、結婚や出産、定住、住宅の新築等につながり、人口増や経済効果の面から非常に大切な事業である。と考える。

衛生費

〔質疑〕新型コロナウイルスワクチンの接種状況を伺う。

〔答弁〕令和4年9月5日現在、新型コロナウイルス4回目の接種件数は8千695件で、人口当たり約26%の接種率、60歳以上については約54%の接種率となっている。

これは国や県の平均より高い数字となっている。

土木費

〔質疑〕全国道の駅連絡会の会費を計上しているが、道の駅がまだ形として現れていない中、加入するメリットを伺う。

〔答弁〕一般社団法人全国道の駅連絡会は、道の駅の質の確保や各地域の振興、利用サービスの

向上を目的とした全国の組織で、令和3年8月1日現在の会員数は1千181駅となっている。

本市は、令和4年8月に(仮称)道の駅しろいし基本計画を策定し、今後、道の駅の整備を計画していることから、この連絡会に加入することで、現在のニーズや取組状況、先進事例などの情報を取り入れていきたいと考えている。

災害復旧費

〔質疑〕旧斎川小学校体育館災害復旧工事に約3千万円計上しているが、被害の程度と復旧について伺う。

〔答弁〕本年3月の福島県沖地震により、体育館側面および天井鉄骨補強部材ブレースの変形、外壁の破損、アルミサッシ変形などの被害を受けたことから、被災箇所の交換や補強等に要する経費を計上したものである。

当施設は地域の行事やスポーツ団体に活用されていることから、復旧が図られ次第、活動を再開していただけたものと考えている。